

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

FAX03-3261-5453

2015年7月15日（水）③

第511号 本号2分

戦争法案強行採決断固抗議大集会 に25,000人超す参加！！

15日午後の座り込みに続き、18時30分からおこなわれた戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会主催の「国会正門前抗議大集会」には、25,000人が参加しました（19時現在）。集会では主催者や連帯のあいさつで、「この日を忘れない」、「安倍政権の終わりの始まり」、「たたかいはこれから」が強調されました。

岡田克也民主党代表、吉田忠智社民党党首、志位和夫日本共産党委員長が参加、強行採決に抗議するとともに、たたかいはこれから、と激励のあいさつを行い盛んな拍手を受けました。

SEALsの集会には数万人が参加

この集会に続くSEALsの集会には数万人の若者を中心とした人々が参加、21時現在怒りのコールを続けています。この集会は総がかり行動実行委員会と協議の上、相互に連帯あいさつを交換するなど協力したとりくみとなったものです。16日、17日も続けられます。

16日(木)の行動

- 13:00～17:00 座り込み 国会正門前
途中集会
- 18:30～19:30 大集会 国会正門前
- 19:30～20:30 SEALsの集会 国会正門前

17日(金)の行動

- 13:00～17:00 座り込み 国会正門前
途中集会
- 18:30～19:30 大集会 国会正門前
- 19:30～20:30 SEALsの集会 国会正門前

18日(土)の行動

- 13:00～ 「アベ政治を許さない」全国一斉街頭宣伝行動
解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会としては、都内数箇所で開催されるうち、新宿駅南口でサイレントスタンディングを行います。

※この期間、台風接近で天候悪化が予報されています。天候次第では変更の可能性もあります。最新情報は総がかり行動実行委員会のホームページにご注目を。

特別委員会傍聴記録

自公、国民の声を無視し戦争法案の採決強行

民主、共産は審議の続行を求め、採決強行に抗議

7月15日午前9時から浜田委員長の職権で開催された戦争法案審議の特別委員会は、12時10分、共産党の赤嶺議員の「審議の続行を求め動議」を否決。11分から討論を強行。自民、公明の賛成討論、維新の反対討論のあと12時24分採決が強行されました。

赤嶺議員の動議を否決した後は野党議員が委員長席に詰め寄り、討論・採決の強行を抗議して議場は騒然となり委員長の発言はほとんどかき消されるという状況で、野党議員は「強行採決反対」「自民党感じ悪いよね」などのプラスターを持って抗議しました。

民主党、共産党は審議の続行を求め、今日の採決の撤回を求めました。

イラク派遣の黒塗り資料の提出もされないまま

なかでも7月10日に問題となった「イラク復興支援活動行動史」の委員会への提出がまだ行われていないことが問題になりました。7月10日防衛省から出された黒塗りの資料をもとに質問した民主党の辻元議員と、黒塗りでない資料をもとに質問した日本共産党の穀田議員の双方が、法案審議を進めるにあたって必要な資料として全議員への提示を求めているものがいまだ提示されていないもって強行採決などもってのほかだと辻元議員と赤嶺議員が追求。中谷防衛大臣は「全面開示できるよう準備している」と答えたため、両議員は「ただちに理事会を開け」と要求、赤嶺議員は資料が出るまで質問を留保すると発言しましたが、委員長は審議を続行し資料の提供に背を向けました。

この日の質疑では野党の質問に安倍首相は正面からまともに答えず、多くの国民の疑問は解明されないままです。また公明党議員の国会の事前承認などいわゆる「歯止め」についての質問にも、官僚のメモを読みながら「可能な限り」という条件付きでの情報開示という答弁に終始しました。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

今日はたくさんの傍聴者があり、30分ごとの入れ替えで、しかもマスコミも多く、傍聴席でもなかなか審議の状況が見えませんでした。公明党の賛成討論の際「歯止めがきいている」との発言に、一斉に「えー！！」との声上がり、委員長の採決強行の際に、野党議員のプラスターなどがテレビ画面に映りましたが、「自民党感じ悪いよね」のプラスターに、「公明党も感じ悪い！」との声も出され、怒りに満ちた傍聴となりました。

(写真：7月15日13時 国会正門前で畠山議員の強行採決の報告を聞き、抗議するみなさん)

